

# 広島大学病院

Hiroshima University Hospital Medical-Dental Liaison News

No. 14  
2008. 10

# ニュース



## ドッグトレーニング in いこいの森

平成20年7月22日、広島大学病院いこいの森広場で、警察犬訓練士の市井義信さんによる犬の訓練が披露されました。



訓練は、市井さんのペースに合わせて犬が歩く様子や「座れ」という人間の指示に従うことでした。その様子に子どもたちから「お利口だね～」と歓声あがりました。



訓練の様子を披露した後、「動物を介して患者さんの癒しに少しでも有益な効果となれば」とアニマルセラピーならぬドッグセラピーとして、犬とのふれあい時間を作ってくださいました。市井さんが「ボールを投げてみて」と患者さんに手渡す場面もありました。



30度を越す暑い中、ボランティアで駆けつけてくださった市井さんに、越智病院長から感謝状が贈られました。

市井義信さんありがとうございました。  
ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

## 第15回 広島大学病院ロビーコンサート

平成20年9月2日 第15回広島大学病院ロビーコンサートを開催しました。ゲストにはプリマドンナとして世界で活躍中の中丸三千繪さんとピアニスト菊地真美さんが、昨年度に引き続き、当院で素敵な歌声を響かせてくださり、全8曲を熱唱されました。



中丸三千繪さんと菊地真美さん



中丸三千繪さんの歌声が病院ロビーに響きはじまりました。



ご友人でもいらっしゃる越智病院長から感謝状が贈られました。



中丸さんは3曲目を歌い終えたあと、歌への思いについて語ってくださいました。



鳴りやまない拍手の中、病院より花束が贈られました。

中丸三千繪さん、菊地真美さん素敵な歌声と演奏、そして心温まるお言葉ありがとうございました。お二人の優しいお気持ちが、一人でも多くのかたに伝わったことと思います。

# 漢方外来へ取材に行きました

平成19年に開設された漢方外来について、総合診療科長の田妻進先生と漢方外来担当の中島正光先生にインタビューしました。



漢方外来ってどんな外来なのですか？

「漢方」つまり東洋医学は、病気の診断方法が違います。西洋医学（最先端医療）は、レントゲン、血液、尿検査などによって病気解明しますが、東洋医学では苦痛となる自覚症状を問診して改善していきます。単に問診というだけでなく、舌を見たり触診したりといった、いわゆる五感による診断を主たるものとして、自覚症状の苦痛を改善していきます。



## 西洋医学と漢方医学の治療体系の比較

西洋医学 → 種々の検査 → 検査結果判明 → 病名の決定 → 治療開始

東洋医学 → 四診（望診・聞診・問診・切診） → “証” 決定 → 治療開始

### 東洋医学の診断方法



望診  
聞診  
問診  
切診



個々の体質などを重視した診察を行うということなのでしょうか？

そうですね。個人の苦痛とされる症状を病気として考えていきますので、結果としては、個人を尊重した治療ということになります。



では、西洋医学で主流となっている検査は行わないのですか。

いえいえ。当院は最先端医療を提供する病院ですから、それは絶対にありません。検査を行わないのではなく、西洋医学で苦痛となる原因が解明、改善されなかった場合に、その苦痛を取り除く方法の選択肢として「東洋医学ではどうだろうか」と考えていただければと思います。



【最先端医療＋東洋医学】＝漢方外来ということですか。

ちょっと違うような気がしますが…。西洋、東洋医学の得意分野とする部分を併用して治療する外来ですかね。正確に言うと西洋と東洋医学の融合外来と思っていただければと思います。細菌感染などは、西洋医学が最も得意とする分野ですが、冷え性や肩こりなどの症状改善は漢方の得意分野です。しかし漢方は万能薬ではないため、西洋医学は不可欠です。西洋、東洋医学と分けるのではなく、双方の利点を生かしながら症状を改善するということですかね。





それでは事例をあげながら、漢方外来担当の中島正光先生にご説明いただきたいと思います。



はじめまして、漢方外来担当の中島正光です。  
それでは春先になるとよく起こるくしゃみ「花粉症」を例にあげて、西洋と漢方での治療法についてご紹介します。

### 西洋医学での治療

問診

症状、アレルギー反応、血液検査などをして疾患名を明らかにする

疾患名「花粉症」

抗アレルギー剤、抗ヒスタミン剤を処方



### 漢方医学での治療

問診

(望診、聞診、問診、切診)

ポイント

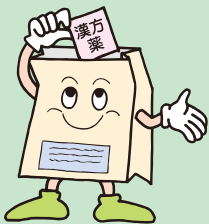
証を決める

気血水、陰陽虚実表裏寒熱六病位、五蔵などを利用して個人の体質と症状を見極める

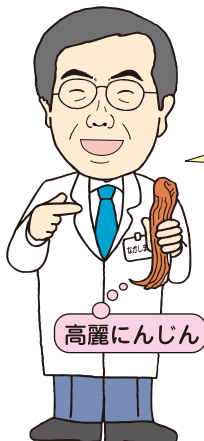
証に合った漢方を処方



### 広島大学病院漢方外来での特色



- 1) 西洋医学では、治療が少ない疾患に対する治療が行える場合がある。
- 2) 西洋医学では疾患として取り上げられない症状に対する治療を行うことができる(肩こり、冷え性など)。
- 3) 個人の体質を加味した治療を行う努力をする。
- 4) 西洋医学的な検査、治療の利点をとり入れ、東西の両方の利点を活用して治療する。



高麗にんじん

西洋医学と漢方がうまく融合すると医療の理想に近づくことができます。

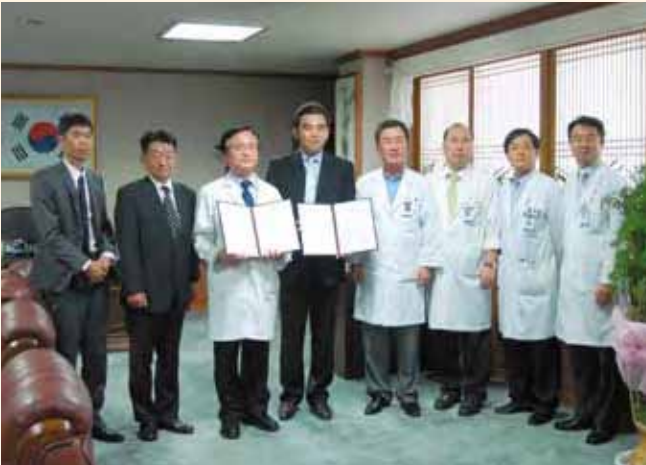
漢方が効果を示す体質、症状は沢山あります。例えば、症状では、咳、風邪を引きやすい、鼻炎、更年期の色々な症状、冷え、のぼせ、肩こり、立ちくらみ、体調不良などなど色々あります。その他の症状についても一度漢方外来でご相談ください。



漢方外来についてのお問合せは ☎082-257-5460

# 交流の推進

本院は平成20年8月8日大韓民国忠南大学校病院と学術・教育交流に関する交流協定を締結しました。



## 締結後の 記念撮影

中央が忠南大学校病院Shi-Hun Song院長と本院越智光夫病院長（整形外科教授）  
右が忠南大学校整形外科教授のみなさん  
左が本院の安永裕司教授と角田職員



## 協定書への署名風景

左が忠南大学校病院Shi-Hun Song院長  
右が本院越智光夫病院長

締結終了後、越智光夫病院長と同行した安永裕司教授が記念講演を行いました

## 安永裕司 教授



はじめに、安永教授が寛骨臼回転骨切り術 (rotational acetabular osteotomy; RAO) の長期成績と広島大学で独自に開発した手技について講演しました。

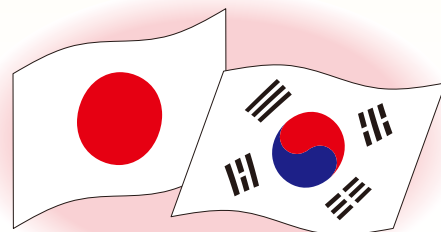
## 越智光夫 病院長 (教授)



越智病院長は世界に先駆けて本院で行われている関節軟骨欠損に対する自家培養軟骨細胞移植 (autologous chondrocyte implantation; ACI) の臨床応用と磁場を利用した軟骨修復に関する基礎研究について講演し、日本の文化と広島についても紹介しました。



これを機に両院の学術・教育分野における協力を通じ、両院の相互理解を深め、かつ学術の進歩・発展に貢献されることが期待されます。



# インターンシップ

今年もたくさんの方々に参加いただきました



インターンシップとは、臨床現場の看護師とともに看護活動を実施し、学生さん自身が適応力を判断する機会となっております。平成18年度から当院で実施しています。



## 第23回広島大学病院花火まつりを開催しました



この花火まつりは、病院職員の手作りによるもので、入院生活を余儀なくされている患者さんに、少しでも夏の雰囲気を感じていただくことが出来ればと開催しています。



### 花火まつりを盛り上げてくれました



段原中学校生徒会による「ソーラン踊り」



広島を中心に活動しているバンド ROUGE2006 によるコンサート



ボランティアで駆けつけてくださったROUGE2006に越智光夫病院長から感謝状と花束が贈呈されました

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/>

広島大学病院のホームページ

わかりやすく見やすいページづくりを心がけていこうと思いますので、引き続きご愛顧のほど、よろしくお願い致します。

ご意見やご感想を下記へお願いします。  
 広島大学病院 秘書室広報担当 〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号 Tel 082-257-5014 Fax 082-257-5074



地球環境にやさしい印刷方法で  
 作成されています。  
 E-SPA (環境保護印刷推進協議会)  
 シルバー認証  
環境保護推進